

平成30年度 第3回能代市中心市街地活性化推進協議会

会 議 録

日 時：平成30年12月18日（火）

午後6時30分～

場 所：能代市役所大会議室（旧議事堂）

協議事項

- ・資料に基づき阿部副会長（全体戦略分科会副座長）及び事務局から説明し、協議及び質疑を行った。

（1）全体戦略分科会での協議経過の報告について（資料1）

- ・第4回から第6回までの全体戦略分科会の概要を、阿部副会長が説明。
- ・これまでの協議をもとに、大切な視点として①商業の振興、②生活の利便性確保、③まちの魅力向上・見える化の3つのキーワードを設定、全体戦略分科会で検討した中心市街地の「現状の認識・課題」と「活性化のイメージ」を整理した。
- ・後期計画の事業を3つのキーワード区分ごとに整理し、それぞれの事業についての後期計画中間評価検証を再確認し、第2期計画での取り組みについて検討し、具体的な事業の方向性を協議。
 - 後期計画事業が、現在の課題の解決につながるか、活性化のイメージを実現できるか、事業の方向性はどうあるべきか、という視点で検討
 - 課題解決や活性化につながらない、あるいは効果が弱いと判断される事業については、内容の見直しや他の事業との統合、事業の廃止について検討
 - 事業を実施しても解決されないと考えられる課題（現状の認識）については、「どのような事業があれば課題が解決され活性化が実現されるのか」について検討し、新規事業の方向性について協議
- ・将来像及び基本方針等について、「商業の振興」「生活の利便性確保」「まちの魅力向上・見える化」を柱とし、ソフト事業を中心に施策を展開していくこととし、分科会で検討した活性化のイメージやキーワードに沿ったものとして事務局において取りまとめることとした。
- ・目標数値については、第1期計画で設定した「歩行者・自転車通行量」「空き店舗率・営業店舗数」の他に適切な指標が設定できないか事務局で検討することとした。

（2）第2期能代市中心市街地活性化ビジョン・中心市街地活性化計画（素案）について（資料2、計画素案）

- ・ビジョン及び計画素案について、資料2により事務局より説明した。

協議・質疑

委員：検証指標を設定しP D C Aサイクルの手法により評価し改善していくというのは、世の中の変化に合わせた進め方をしていく上では必要なことだと思う。「まちの魅力向上」に関わる事業も、まだいろいろ考えられると思うので、ここにあるだけでなく状況に合わせて追加変更も必要である。基本方針1～3すべてについて言えることだが、これらをどうやって具体化していくか、検証しながら進めていければいいと思う。

委員：子ども館の宇宙関係の展示が充実し、観光施設として十分活用できる施設になってきている。「まちの魅力向上」の中に子ども館の利活用も位置づけてはどうか。

また、「けやき公園の定期イベント」事業について、けやき公園だけでなく市役所のさくら庭も活用した形で進めてはどうか。

事務局：子ども館はまちの魅力という点でも使える施設であると考えているが、基本的に子どもの教育のための施設であることから、教育委員会とも相談していきたい。

「けやき公園の定期イベント」は街なみ創造協議会が主体となって、中心市街地内の公園、特にけやき公園にこだわって利活用を考える事業として行われている。さくら庭も一体となった事業展開について街なみ創造協議会でも検討されたが、まずはけやき公園での実施を中心に考えたいとのことであった。

委員：市役所の第四庁舎跡地に何かができるれば、けやき公園とさくら庭と合わせてもう少し考え方が変わってくるかなとも思う。

委員：最近インターネットで買い物をする人も多いという。ただ高齢者はなかなかそういうものを扱えないし、かといって外に買いに行くのも難しい人もいる。ネット利用も含め、高齢者の買物を支援するような取り組みが、地元商業界から出てきてくれると良いのではと思う。

事務局：高齢者向けの生活支援やITも活用した買い物支援ということになると思うが、実際に買い物支援に取り組んでいる地元商店もある。基本目標2「生活の利便性の確保」に関係してくるもので、これから必要性が大きくなっていく分野である。将来的な課題として考えていかなければならない問題だと思う。

委員：商店街の活動は様々に行われているようだが、それらの横のつながりが大事だと思うし、連携して実施していけば元気な活動の姿も見えてくるのではないか。

また、魅力発見も大事だが、自ら魅力を発信していくことも大事だと思う。自分の商店街の魅力をもっと出して、市民の皆さんに発信していくべきではないか。

事務局：今年、畠町商店街振興組合でポスタースタンプラリーを実施した。中心市街地活性化室でも、商店街をまたがるような形でスタンプラリーを企画し、畠町と柳町と一緒に実施したり、12月26日には畠町と駅前での実施をお願いしている。中心市街地活性化室として、個店や商店街の橋渡しのような役割を果たして、活性化につなげていければと考えている。

ビジョン案について

・協議の結果、多数決で案4「#元気発信 #便利実感 #魅力発信 ～きてみて発見のしろの元気～」をビジョンとすることとした。

(3) 今後のスケジュール

- ・今回の素案をもとに必要な修正を行い、市議会へもご説明したうえで1月中旬にパブリックコメントを実施して市民の方の意見を伺う。
- ・パブリックコメント結果を受けて計画案を修正し、2月下旬に協議会を開催して計画の最終案とし、3月に計画決定とする予定。

その他

- ・計画素案に対して意見がある場合は、配布した様式により1月9日までに提出することとした。